

3. 教職員に対する研究会、研修会等の開催

3-1 大学情報化全国大会

本大会は、大学全体の情報化を普及促進するための課題として、情報技術活用の組織的取り組み、情報技術を活用した教育事例、個人情報保護対策、著作権問題、セキュリティ対策、最先端の技術動向などを中心に理解を深めることを目的としている。大会の企画及び運営・実施は、情報化全国大会運営委員会（委員長：向殿政男、明治大学）を継続設置して対応した。

（1）開催方針

17年度大会は、次のような方針のもとで開催プログラムを決定した。

- ① 開催テーマを「e-Learningの実施と効果」とし、e-Learningを効果的に活用するための条件を昨年度より具体的に提示するため、私情協でとりまとめたガイドライン「教育改革を目指したeラーニングのすすめ」をもとに解説し、関連した実践事例も初日と3日目に分けて紹介することとした。
- ② 個人情報保護法の施行に伴い、個人情報保護に関して教育現場で留意すべき点や大学として対応すべき事項について認識を深めるとともに、教育現場における著作権問題について啓蒙するため、専門家による解説を企画した。

（2）開催結果

以上の方針をもとに、次ページの通り開催要項及び日程を決定し、9月7日、8日、9日の3日間に亘り、東京市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷（私学会館）を会場に開催した。参加大学は、168大学、19大、賛助会員は21社で、3日間の参加者数は2日目発表者や賛助会員を含めて536名となり、昨年度とほぼ同じ結果となった。なお、大会の概要は巻末の資料編【資料9】を参照されたい。

（3）大会および運営委員会の改組

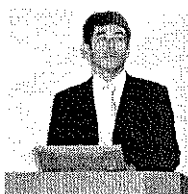
大学全体による戦略的なIT活用の取り組みをより重視するため、18年度より「大学教育・情報戦略大会」として、また、運営委員会も「教育・情報戦略大会運営委員会」として改組することを119回理事会（18年3月18日）

に提案し、41回総会（18年3月28日）で決定した。

（４）次年度への準備

大会後、運営委員会では参加者からのアンケートを踏まえて、18年度の開催方針について検討を行った。日程及び会場は、9月5日から7日の3日間、アルカディア市ケ谷（私学会館）に決定した。大会を「大学教育・情報戦略大会」に改組することに伴い、テーマを「大学改革とIT」とした。

プログラムは、1日目は大学改革を実現するためのITの戦略的活用など大学全体をテーマとした話題、2日目は従来通りの公募による教育・支援環境の事例発表、3日目は教職員を対象とした1日目に関連した実務的な話題について、検討を進めている。なお、講演や事例発表等のVTR、レジュメのオンデマンド配信、開催結果のホームページ掲載を引き続き行うことで、大会に参加できない大学関係者にも周知できるよう、迅速に対応することとした。



開催テーマ：e-Learningの実施と効果
 平成17年度 大学情報化全国大会 開催プログラム

9月7日(水)									
参加費	会員：7,500円・非会員11,250円	無料	3F 富士	無料	3F 富士				
会場	1000	●e-Learningの実施と効果							
		「教育改革を目指したe-Learningのすすめ」							
		五木 敏也氏(南山学院大学経営学部教授)							
		本協会コンテント委員会がまとめたe-Learning導入のためのガイドラインを本委員会委員である岡田氏より解説いただきます。南山学院大学での取り組みも紹介いたします。							
1100		<関連事例紹介>							
		e-Learningの効果的な活用方法として、二つの実践例を紹介いたします。							
		「基礎教育理解のための個別学習支援システム」							
		松浦 敏氏(東海大学理工学部経済教育センター助教授)							
1130		「ブレンドド・ラーニング：対面授業とe-Learningの融合」							
		杉山 伸也氏(慶應義塾大学理工学部メディア・コンテンツ総合研究センター所長)							
1200		休 憩 (30分)							
1330		「インターネットによる大学間授業交流と教材の公開」							
		・オンデマンド授業流通フォーラム							
		内山 博美氏(オンデマンド授業流通フォーラム事務局)							
		・日本オープンコンソーシアム							
		福岡 美三氏(慶應義塾大学理工学部メディア・コンテンツ総合研究センター)							
		二つの組織から活動を紹介いたします。							
1400		●教員側に求められる個人情報保護対策							
		総務 政男氏(中央大学法科大学院教授)							
		教育活動における個人情報取り扱いの留意点、対応策について解説いたします。プロアを交えた質疑応答を行います。							
1500		休 憩 (20分)							
1520		●発言・報告							
		社団法人 私立大学情報教育協会							
		「情報化対策への展望～教育・大学・学外における戦略～」							
		「IT活用のための教育向けe-Learning」							
		「デジタルコンテンツの共有と著作権処理」							
		本協会が実施した調査や研究報告などをとくに情報化対策への提言を行う他、補助金活用等の解説を行います。							
1630		終了							
9月8日(木)									
参加費	会員：6,000円・非会員9,000円	無料	5F 阿蘇西	6F 阿蘇西	6F 阿蘇西	5F 阿蘇西	5F 阿蘇西	5F 阿蘇西	5F 阿蘇西
会場	9:40	大会発表(102件)	A-1	B-1	C-1	D-1	E-1	F-1	F-1
	10:00		A-2	B-2	C-2	D-2	E-2	F-2	F-2
	10:20		A-3	B-3	C-3	D-3	E-3	F-3	F-3
	10:40	展示会 出版内容紹介(10分)							
	10:50	休 憩 (10分)							
	11:00		A-4	B-4	C-4	D-4	E-4	F-4	F-4
	11:20		A-5	B-5	C-5	D-5	E-5	F-5	F-5
	11:40		A-6	B-6	C-6	D-6	E-6	F-6	F-6
	12:00	展示会 出版内容紹介(10分)							
	12:10	休 憩 (80分)							
	13:30		A-7	B-7	C-7	D-7	E-7	F-7	F-7
	13:50		A-8	B-8	C-8	D-8	E-8	F-8	F-8
	14:10		A-9	B-9	C-9	D-9	E-9	F-9	F-9
	14:30	展示会 出版内容紹介(10分)							
	14:40	休 憩 (10分)							
	14:50		A-10	B-10	C-10	D-10	E-10	F-10	F-10
	15:10		A-11	B-11	C-11	D-11	E-11	F-11	F-11
	15:30		A-12	B-12	C-12	D-12	E-12	F-12	F-12
	15:50	休 憩 (10分)							
	16:00		A-13	B-13	C-13	D-13	E-13	F-13	F-13
	16:20		A-14	B-14	C-14	D-14	E-14	F-14	F-14
	16:40		A-15	B-15	C-15	D-15	E-15	F-15	F-15
	17:00	休 憩 (10分)							
	17:10		A-16	B-16	C-16	D-16	E-16	F-16	F-16
	17:30		A-17	B-17	C-17	D-17	E-17	F-17	F-17
	17:50	休 憩 (10分)							
	18:00	※開始・終了時間を繰り上げました。							
		懇 親 会							
		参加費 会員：6,500円 非会員：9,750円							
1900		終了							
9月9日(金)									
参加費	会員：6,000円・非会員9,000円	無料	5F 大宮	5F 大宮	5F 大宮	5F 大宮	5F 大宮	5F 大宮	5F 大宮
会場	1000	●e-Learningと著作権							
		鈴木 雄一氏(東京理科大学情報メディアセンター教授)							
		e-Learning実施に伴う著作権問題について、留意点などをわかりやすく解説いただくとともに、プロアを交えた質疑応答を行います。							
	11:00	休 憩 (10分)							
	11:10	●e-Learningのための授業設計							
		e-LearningやCALLシステムなどITを効果的に教育に活用するための授業設計について、実践事例を紹介いただきます。							
		「e-Learningを活用した経済学の教育」							
		中嶋 航一氏(帝塚山大学経済学部教授)							
	11:40	「IT活用による複数言語教育プログラム」							
		小野 隆徳氏(京都外国語大学外国語学部教授)							
	12:10	展示会 出版内容紹介(10分)							
	12:20	休 憩 (100分)							
	14:00	●学習管理システム導入の必要性							
		中村 壽宏氏(神奈川大学大学院法務研究科助教授)							
		e-Learningを効果的に活用するために、なぜ学習管理システムの導入が必要なのか、自らの開発から実践事例を交えながら具体的に解説いただきます。							
		<市販システムの導入事例>							
	14:30	BlackBoard導入事例：鈴木 浩郎氏(豊田大学医学部健康科学科教授)							
		WebClass導入事例：藤原 渉氏(電気通信大学大学院情報システム学研究科助手)							
		市販の学習管理システムの導入事例を2大学から紹介いただきます。							
		(WebCT)の導入事例は、WebClassに変更しました)							
	15:30	●教育研究支援のための組織改革							
		吉田 博志氏(明治大学教育の情報化推進本部本部長)							
		安藤 伸治氏(明治大学教育の情報化推進本部副本部長)							
		デジタルコンテンツ作成の支援のみならず、教室のプレゼンテーション・設備やソフト購入など、教育を支援するべく組織の立ち上げと、その取り組みを紹介いただきます。							
	16:00	終了							

プログラムはWebにも掲載しており、随時最新情報を更新しています。 <http://www.juce.jp/LINK/taikai/2005taikai.htm>